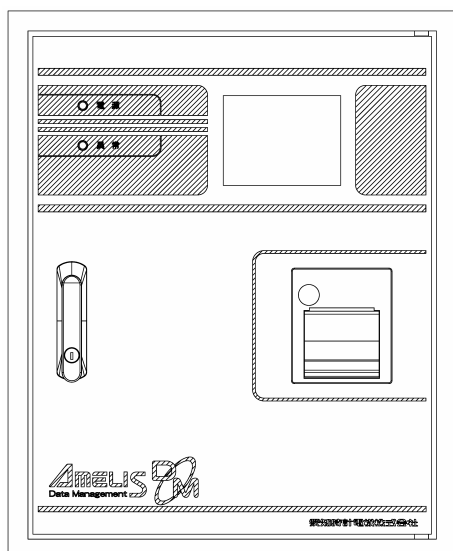




アメリスDM 取扱説明書 (簡易版)

型式 CO8-2



「アメリスDM」は、水道・電力など各種メーターに応じた検針を行い、使用量・料金を計算・印刷するシステムです。あらかじめ設定しておいた単価情報により、きめ細かい料金管理がおこなえるため、検針後のわずらわしい料金計算などの業務がいりません。

また、パソコンと接続することで、料金請求書を作成することも可能です（パソコンはオプション）。検針、料金票印刷ともに指定日に自動でおこなえるので、日頃操作される方にしていただくのは、記録紙の補充など簡単な作業だけです。

短い周期で検針を行い、水道・電力などの検針値をCSV形式で保存することができ、SDカードやUSBメモリで取り出すことができます。

※この取扱説明書は、主にご使用になられる機能についてのみを抜粋し簡略化して記載しております。より詳細な内容につきましては「アメリスDM取扱説明書（日常操作編）」をご参照ください。

第1版
2012年 7月

目 次

	頁
§ 1. 検針及び検針票の表示・印刷	1
1-1. 検針モードの確認	1
1-2. 自動検針モードが設定されているときの操作手順	1
1-3. 手動検針モードが設定されているときの操作手順	2
1-4. 印字例	3
§ 2. 記録紙の交換方法	4
2-1. 記録紙のメーカーと型式について	4
2-2. 交換手順	4
§ 3. 時刻の設定	6
§ 4. 検針方法の設定（請求締め日の設定）	7
§ 5. テナント名称の設定	8

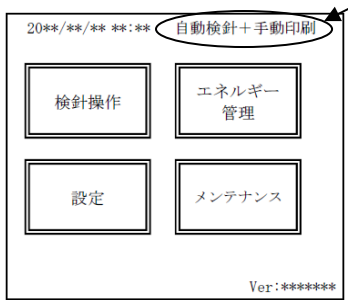
§ 1. 検針及び検針票の表示・印刷

注 記

画面は指で軽くふれてください。
 先端のとがったもので押さないでください。
 画面が破損し、操作ができなくなる可能性があります。

1-1. 検針モードの確認

- 指で軽く画面にふれて、画面の右上部分をご確認ください。



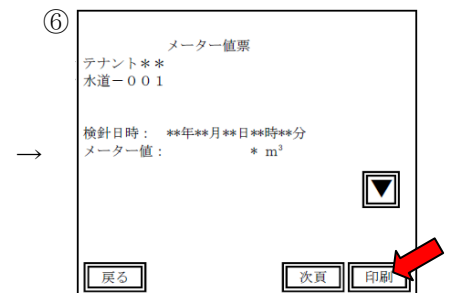
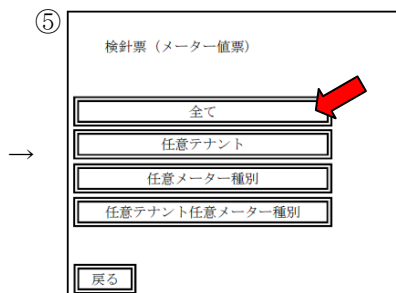
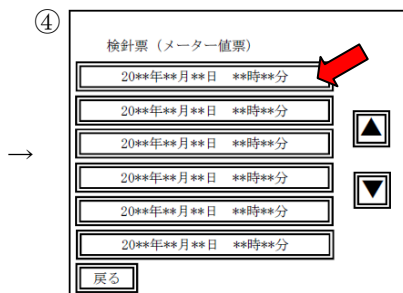
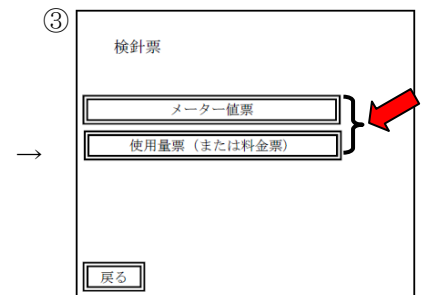
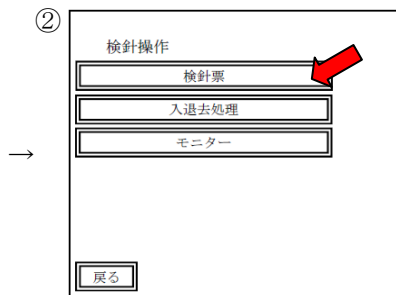
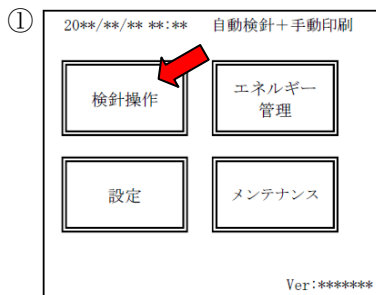
右上部分には、

- 自動検針+自動印刷 → 1-2
- 自動検針+手動印刷 → 1-2
- 手動検針 → 1-3

のいずれかが表示されます。

1-2. 自動検針モードが設定されているときの操作手順

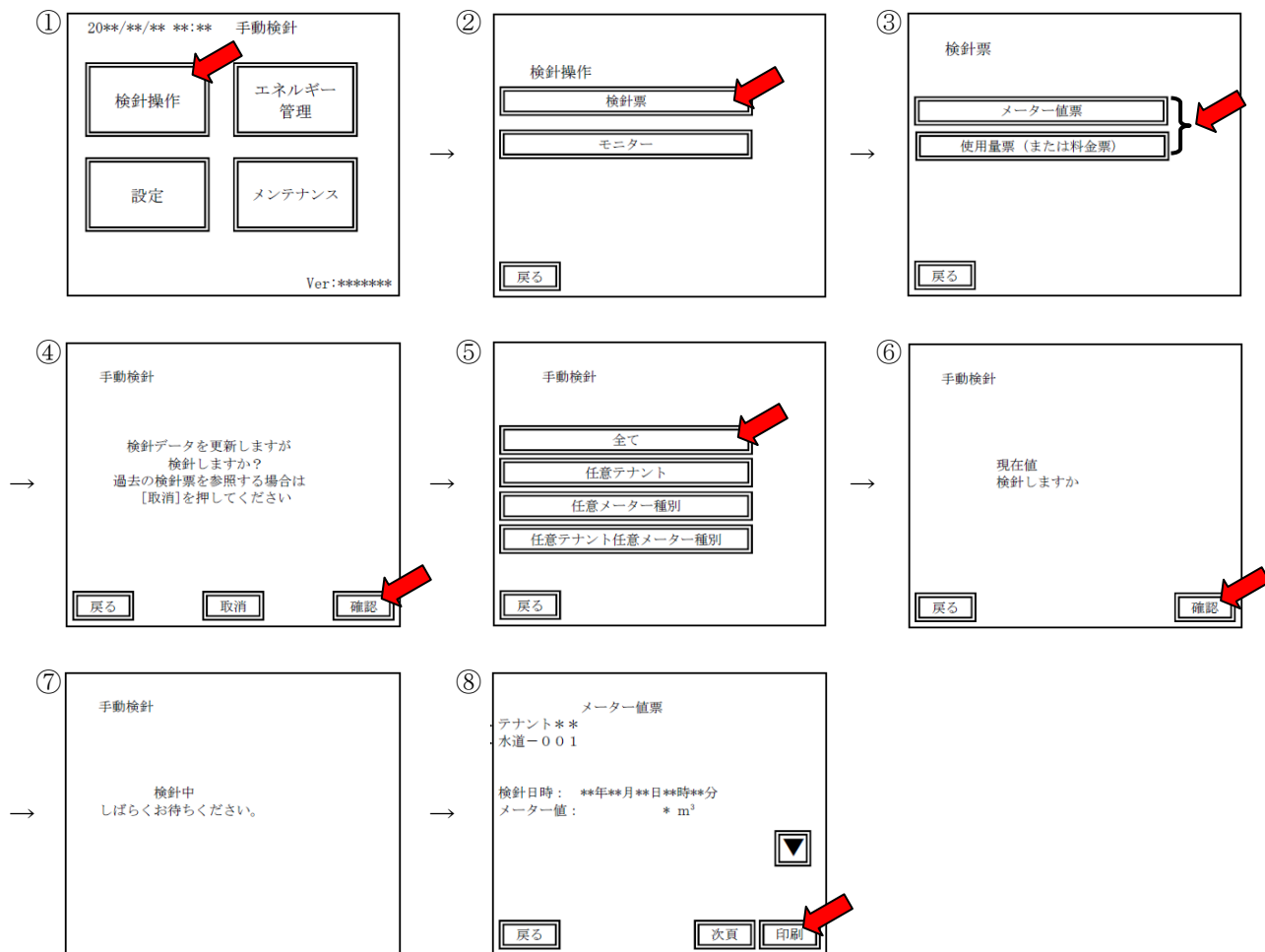
- 次の操作をおこなうと、最新の検針票を表示・印刷します。
- ①[検針操作] → ②[検針票] → ③[(読み出す帳票を指定)] → ④[(最上段を指定)] → ⑤[全て] → ⑥[印刷]



1-3. 手動検針モードが設定されているときの操作手順

・次の操作をおこなうと、検針を実施し、表示・印刷します。

①[検針操作] → ②[検針票] → ③[(検針する帳票を指定)] → ④[確認] → ⑤[全て]
→ ⑥[確認] → ⑧[印刷]



1-4. 印字例

- ・ 1-2または1-3のように操作することで、以下のような種類の検針票が印字されます。
(使用量票と料金票は設定により選択となります)

【メーター値票】

```

*****
メーター値票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
テナント1

メーター種別 水道-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3

メーター種別 電灯-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** kWh
*****
テナント2

メーター種別 水道-002
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3

メーター種別 電灯-002
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** kWh
*****
テナント3

・
・

```

【使用量票】

```

*****
使用量票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
テナント1

メーター種別 水道-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** m3

使用量 ** m3
前回比 ** %

メーター種別 電灯-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** kWh
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** kWh

使用量 ** kWh
前回比 ** %
*****
テナント2

メーター種別 水道-002
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** m3

使用量 ** m3
前回比 ** %

メーター種別 電灯-002
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** kWh
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** kWh

使用量 ** kWh
前回比 ** %
*****
テナント3

・
・

*****
メーター種別総使用量票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
メーター種別 水道
**年**月**日**時**分～
**年**月**日**時**分
総使用量 **m3

メーター種別 電灯
**年**月**日**時**分～
**年**月**日**時**分
総使用量 **kWh
*****

```

【料金票】

```

*****
料金票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
テナント1

メーター種別 水道-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** m3

使用量 ** m3
料金 ** 円
前回比 ** %

メーター種別 電灯-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** kWh
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** kWh

使用量 ** kWh
料金 ** 円
前回比 ** %

固定費 ○○○ ** 円
固定費 △△△ ** 円
固定費 □□□ ** 円
-----
小計 ** 円
税金額 ** 円
請求金額 ** 円
*****
テナント2

メーター種別 水道-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** m3

使用量 ** m3

・
・

*****
メーター種別総料金票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
メーター種別 水道
**年**月**日**時**分～
**年**月**日**時**分
総使用量 **m3
総料金 **円

メーター種別 電灯
**年**月**日**時**分～
**年**月**日**時**分
総使用量 **kWh
総料金 **円
-----
合計金額 **円
*****

```

§ 2. 記録紙の交換方法

記録紙の両端に赤い帯状の線が現れ始めたら記録紙の残りが少なくなっています。完全に記録紙がなくなると画面に「プリンター紙なし」が表示されます。「プリンター紙なし」が表示されるまで使い続けても問題ありませんが、なるべく赤い線が現れた時点で記録紙を交換するようにしてください。

2-1. 記録紙のメーカーと型式について

必ず下記の指定用紙を使用してください。

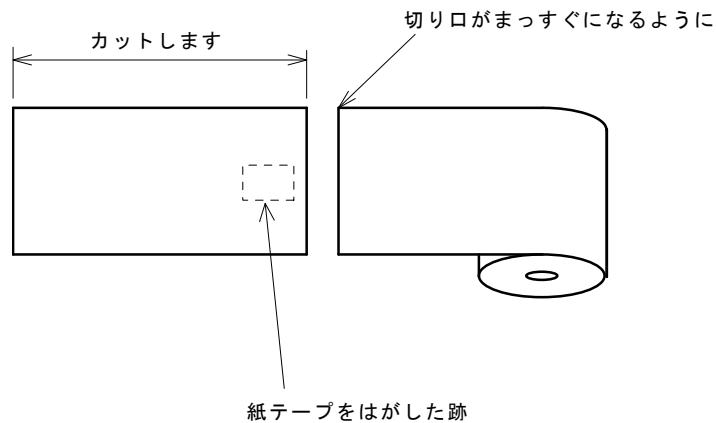
メーカー：三栄電機株式会社製
型 式： μ TP-58E

2-2. 交換手順

(1) 新しい記録紙の準備をします。

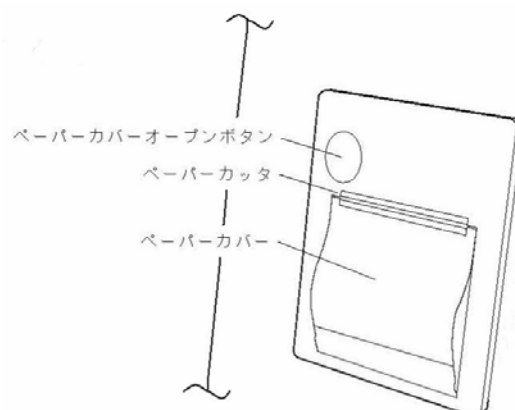
新しい記録紙は先端が紙テープで固定されています。まず紙テープをはがしてください。

紙テープをはがした跡には、記録紙の性質上印刷はされませんので、下図のように先端からテープをはがした跡までをカットしてください。



(2) ペーパーカバーを開けます。

下図のペーパーカバーオープンボタンを押します。



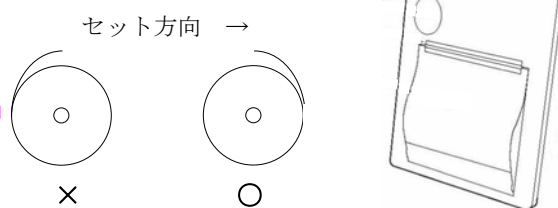
(3) 記録紙をセットします。

記録紙をプリンター内に納め、記録紙の先端を少し引き出してペーパーカバーとペーパーカッタではさみこむようにセットします。



注 記

記録紙の方向に注意してください。



セット方向を間違えると記録紙が裏側となり、印刷できません。

§ 3. 時刻の設定

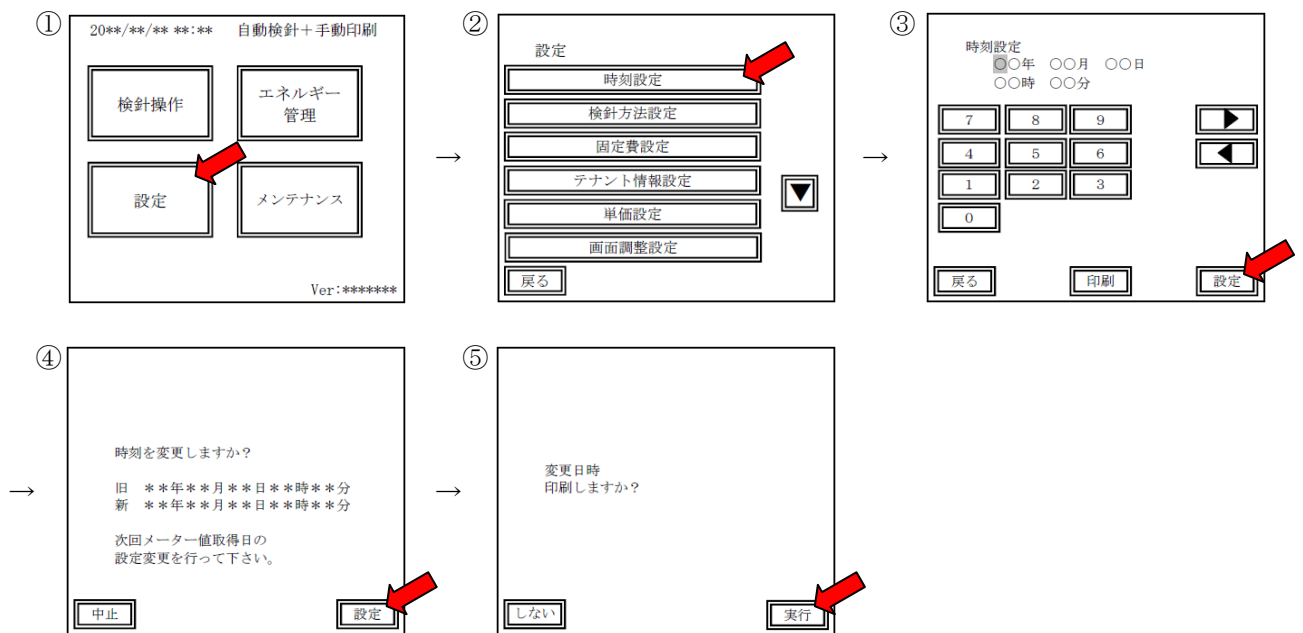
検針盤内の時刻を設定します。ここで設定する時刻により、検針をおこなったり、履歴の発生時刻などに使用されます。

注 記

時刻を変更する際は、次回の検針日時に注意して変更をおこなってください。（自動検針の場合）
次回の検針日時を越えた未来に時刻を設定すると、検針がおこなわれなくなってしまいます。

・ 次の操作をおこなうと、時刻を設定（変更）し、設定内容を印刷します。

①[設定] → ②[時刻設定] → ③カーソル位置へ数字をテンキー入力した後[設定] → ④[設定]
→ ⑤[実行]



§ 4. 検針方法の設定（請求締め日の設定）

検針盤がおこなう検針には「自動検針」と「手動検針」があります。

- ・自動検針・・・検針盤に設定した「検針日時」及び「検針周期」に合わせて、検針盤が自動的に検針をおこないます。
- ・手動検針・・・検針盤の画面を操作することにより、任意のタイミングで検針をおこないます。

（詳細は、アメリスDM取扱説明書（日常操作編）をご参照ください）

注 記

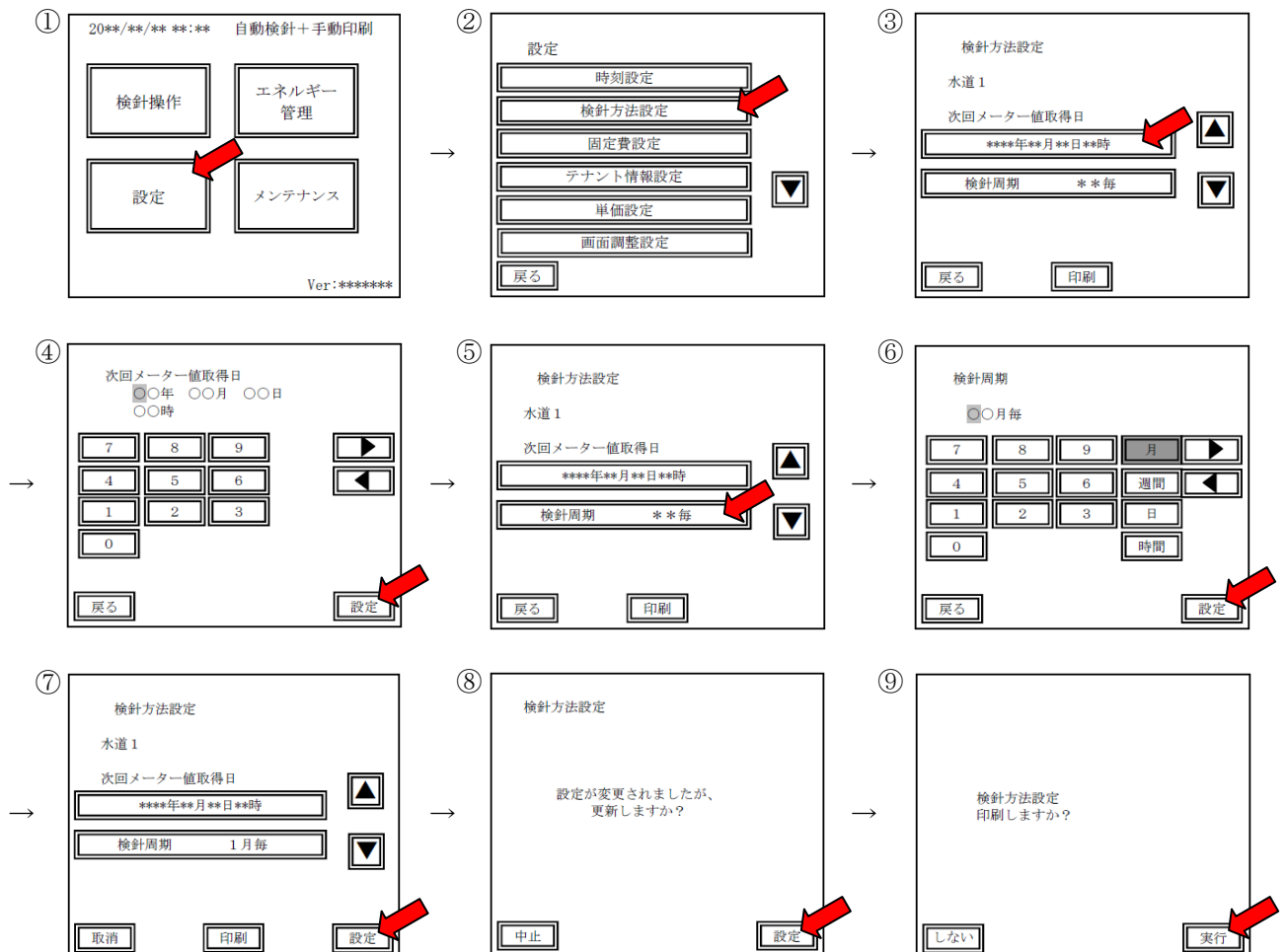
検針方法設定は、検針盤に登録されているメーター種別ごとに検針方法を設定できます。（ただし、自動検針と手動検針の併用はできません）

「手動検針モード」→「自動検針モード」に変更する際に設定した自動検針の設定が一旦全メーターに反映されます。自動検針のタイミングをメーター種別ごとに変えたい場合は、再度メーターを選択して個別に検針タイミングを設定してください。

あるメーターに対して「自動検針モード」→「手動検針モード」の変更をおこなった場合、検針盤に登録されている全メーターに対して「手動検針モード」に切り替えられます。

・次の操作をおこなうと、検針方法の設定（請求締め日の設定）、設定内容を印刷します。

- ①[設定] → ②[検針方法設定] → ③[(次回検針日時を選択)] → ④カーソル位置へ数字をテンキー入力した後[設定] → ⑤[(検針周期を選択)] → ⑥カーソル位置へ数字をテンキー入力、[月・週間・日・時間]を選択した後[設定] → ⑦[設定] → ⑧[設定] → ⑨[実行]



§ 5. テナント名称の設定

・次の操作をおこなうと、テナント名称の設定ができます。

①[設定] → ②[テナント情報設定] → ③[(設定(変更)するテナントを選択する)] → ④[テナント名称] → ⑤テナント名称変更後[設定] → ⑥[設定] → ⑦[設定] → ⑧[設定] → ⑨[実行]

